

superior ophthalmic vein was carried out. After that, carotid-cavernous fistula disappeared perfectly.

Important points of the surgical technique are; 1) to apply a silverclip to the tentorial edge just posterior to the third nerve, then anatomical relationship of internal

carotid artery, cavernous sinus and the clip applied are carefully investigated on the subsequent angiograms.

2) to repeat angiography several times as insertion of needles continue and state of embolization of cavernous sinus should often be checked.



日本脳神経外科学会事務局ニュース

第10回日本脳神経外科学会認定医認定試験

第10回日本脳神経外科学会認定医認定試験は、去る7月31、8月1、2日の3日間、東京で行われた。受験者は90名、合格者は62名で、合格率は68.9%である。これで我国の脳神経外科認定医の総数は680名(現存676名、死亡4名)となった。

なお認定医認定委員会では、昭和51年恒例の認定試験を昭和51年7月31日(土)―8月2日(月)に行うことを予定している。その詳細は認定医訓練場所の長あてに、正式に通知される。

試験問題

- ①急性外傷性頭蓋内血腫(成人)を分類し、その各々についての診断・治療の問題点を列挙せよ。
- ②つぎの腫瘍について
 - A) 主な症状
 - B) 確定診断に役立つ検査法とその所見

C) 治療方針

を述べよ。

- 1) Pinealoma
- 2) Cerebellar hemangioblastoma
- 3) Foramen magnum meningioma

但し pinealoma については pineal region の two cell pattern pinealoma (germinoma) とし、ectopic pinealoma は省略する。

- ③内頸動脈―海綿静脈洞瘻に際してみられる症状・徴候について項目で挙げ、各項目ごとに病態との関連をつけながら説明せよ。

- ④内水頭症の外科的療法のひとつとしての短絡術を行った場合、

- 1) 短絡管がいかなる作動状態にあるかの判定法を論ぜよ。
- 2) 短絡術合併症のひとつとしての硬膜下血腫につき、その留意点(予防上、治療上)を論ぜよ。

第10回日本脳神経外科学会認定医認定試験合格者名一覧 (数字は認定番号)

621 阿美古征生	642 宮崎 正毅	663 嶋本 嘉克
622 坂野 公一	643 水野 正彦	664 新谷 彬
623 藤津 和彦	644 森 信太郎	665 塩沢 堯夫
624 古瀬 和寛	645 森竹 浩三	666 白瀧 邦雄
625 郷間 徹	646 萬木 二郎	667 相馬 勤
626 伊藤 梅男	647 中原 莊	668 田島 正孝
627 景山 敏明	648 中埜 賢	669 高橋八三郎
628 川上 伸	649 中谷 二郎	670 高橋 俊平
629 河本 圭司	650 野島 丈夫	671 田村 寿雄
630 河村 弘庸	651 野坂 芳樹	672 田村 勝
631 北島 陽夫	652 大神正一郎	673 谷川 雅洋
632 小林 啓志	653 大門 勝	674 谷村 憲一
633 駒井 裕一	654 大久保忠男	675 寺林 征
634 近藤 達也	655 大熊 晟夫	676 徳田 元
635 黒川 健甫	656 大和田健司	677 土田 正
636 桑山 明夫	657 岡田 慶一	678 上野日出男
637 郭 水泳	658 奥平 欣伸	679 渡辺 憲治
638 真柳 佳昭	659 坂井 昇	680 山田 弘
639 三木 啓全	660 榊 寿右	681 吉田 純
640 宮本 俊彦	661 島 史雄	682 吉井與志彦
641 宮岡 誠	662 島 利夫	